

ルーターおよびサーバーの電源切断と投入手順

2023年5月

目次

はじめに.....	1
電源メンテナンスが決まったら.....	1
電源メンテナンスの連絡に必要な情報.....	1
お問い合わせ先.....	1
ルーター.....	2
JUNIPER.....	2
CISCO.....	3
サーバー(アプライアンス).....	4
DELL.....	4
補足.....	5
注意点.....	5
問題が起きた場合.....	5

はじめに

この文書では、電源メンテナンス等の際に必要な、ブルームバーグ・アクセス・ルーターおよびサーバー(アプライアンス)の電源切断および投入の手順を説明しています。

電源メンテナンスが決まったら

ビル停電などによる電源メンテナンス予定日が決まりましたら、下の「お問い合わせ先」にあるブルームバーグ・カスタマーサポート代表番号にお電話ください。次の「電源メンテナンスの連絡に必要な情報」をお伺いいたします。ご連絡は、メンテナンス予定日の一か月ほど前から受け付けております。

電源メンテナンス期間中は、ブルームバーグ・アクセス・ルーターの監視を停止いたします。そのため、電源を落とす日時(停電の開始および復電時刻)は正確にご連絡ください。

電源メンテナンスの連絡に必要な情報

電源メンテナンスのご連絡の際には、以下の情報をご準備ください。

1. 電源を落とす日付、開始および終了時刻
2. 緊急時のご担当者様のお名前、お電話番号
3. アカウント(お客様)番号、ご住所

お問い合わせ先

弊社の他のサービスと同様、当資料に関するお問い合わせは、年中無休のブルームバーグ・カスタマーサポートまでご連絡ください。

日本 +81-3-4565-8900

ルーター

JUNIPER

一般的な Juniper ルーターのモデル

SRX340

電源の落とし方

正常な(グレースフル)シャットダウン - 通常は、この手順に従います。

1. ルーター正面にある電源ボタン(図 1 の深紅色の円で囲まれた部分)を押し、すぐに離す(ルーターの OS の正常なシャットダウンが完了するまで、しばらく待つ)
2. ルーターが停止したことを確認後、背面から電源ケーブル(図 2 の青色の円で囲まれた部分)を外す

強制的なシャットダウン - ルーターがハングしている等の非常時のみ、こちらに従います。

1. 電源ボタンを 10 秒間押し続ける(ルーターの OS の正常終了を経ずに、すぐに電源が切れる)
2. ルーターが停止したことを確認後、背面から電源ケーブルを外す

電源の入れ方

電源を一度落とした後に再び入れなおす場合には、60 秒以上お待ちください。

1. ルーターの背面に電源ケーブルを接続する
2. 正面の LED ライト(PWR STAT の計 2 個(図 1 の緑色の円で囲まれた部分および図 3))が緑色に点灯していることを確認する

LED ライトの状態は、以下を参考にしてください。

1. LED ライトの色の基本の意味

緑:	正常
橙:	警告(動作に支障があるとは限らない)
赤:	障害

2. PWR STAT の計 2 個(図 3)以外の LED ライトは、消灯または通信状態等により緑色に点滅している場合もあるが、緑色であれば通常は問題ない
3. いずれかの LED ライトが橙色に点灯している場合でも、よく観られる以下の二通りは警告であり障害ではない

STAT 橙色: ルーターが起動中(OS の起動完了時には緑色点灯に変わる)

ALARM 橙色: ルーターがバックアップイメージから起動した(ルーターの再起動で正しいイメージから起動され緑色点灯に変わる)

4. 上記以外で LED ライトが橙色あるいは赤色に点灯している場合、ブルームバグ・カスタマーサポートに連絡する

Juniper SRX340 シリーズ

図 1 (正面)



図 2 (背面)



図 3 (正面 LED 正常時)



上段左から: ALARM STAT mPIM1 mPIM3

下段左から: PWR HA mPIM2 mPIM4

CISCO

一般的な Cisco ルーターのモデル

4331

電源の落とし方

4300 シリーズの電源ボタンは正面(ベゼル側)にあります。

1. ルーターの正面にある電源スイッチ(図 1 の深紅色の円で囲まれた部分)を押し、正面の LED ライト(図 1 の緑色の円で囲まれた部分)が消えるまで待つ
2. ルーターが停止したことを確認後、正面から電源ケーブル(図 1 の青色の円で囲まれた部分)を外す

電源の入れ方

1. 電源ケーブルを接続し、ルーターの正面にある電源スイッチを押す
2. 正面の LED ライト(TEMP PWR FAN STAT の計 4 個 (図 1 の緑色の円で囲まれた部分および図 3))が緑色に点灯していることを確認する
3. いずれかの LED ライトが橙色に点灯あるいは緑色に点滅している場合でも、よく観られる以下は警告であり障害ではない

STAT 橙色点滅後点灯: ルーターが起動中(OS の起動完了時には緑色点灯に変わる)

4. 上記以外で LED ライトが橙色あるいは赤色に点灯している場合、ブルームバグ・カスタマーサポートに連絡する

Cisco 4300 シリーズ

図 1 (正面)



図 2 (背面)



図 3 (正面 LED 正常時)



上段左から: POE0 FLASH TEMP PWR

下段左から: SSD ISC FAN STAT

サーバー(アプライアンス)

DELL

一般的な Dell サーバー(アプライアンス)のモデル

R350 R340 R230 R220

電源の落とし方

電源ボタンは正面にあります。R220 では、正面全体を覆っている穴のあいたオレンジ色のプレートを外してから、電源ボタンを操作します。R220 の電源ボタンは、R230 と同じ位置になりますので、以下の R230 の図 1(正面)を参照してください。

鍵がかかっていてプレートを外せない場合には、サーバーの近くに鍵が貼り付けられているかどうか確認してください。鍵が見当たらない、あるいは、プレートが外れない等の場合には、細い棒などをプレートの穴に通すことで電源ボタンを操作します。

電源ケーブルは背面にあります。R350 および R340 には電源ケーブルが二本接続されていますので、二本とも抜き差しをしてください。

1. サーバーの正面にある電源ボタン(図 1 の深紅色の円で囲まれた部分)を押す
2. サーバーが停止したことを確認後、背面から電源ケーブル(図 2 の青色の円で囲まれた部分)を外す

電源の入れ方

1. 電源ケーブルを接続し、サーバーの正面にある電源ボタンを押す
2. 正面の電源ボタンが点灯していることを確認する

Dell R350 シリーズ

図 1 (正面)



図 2 (背面)



Dell R340 シリーズ

図 1 (正面)



図 2 (背面)



Dell R230 シリーズ

図 1 (正面)



図 2 (背面)



補足

注意点

以下の点にご注意ください。

1. 電源ボタンをオフにした後、さらに電源ケーブルを外すことで、電源立ち上げ時のサージ発生を防ぎます。
2. 電源ボタンの位置は、ルーターの機種により異なります。当資料内の図を参照してください。
3. 通信会社から提供された機器を現場に設置しブルームバーグ・アクセス・ルーターに接続している場合、電源のメンテナンス中にその機器の電源を切ったり入れたりする必要はありません。通信会社の機器は主電源と連動しており、電源が復旧すると再起動するように設計されています。

問題が起きた場合

電源メンテナンス中、または、その後に問題が起きた場合には、ブルームバーグ・カスタマーサポート代表番号までお電話ください。オペレーターが、テクニカルサポートの担当者におつなぎ致します。

Take the next step.

詳細につきましては、ブルームバーグターミナルで<HELP>キーを2度押ししてお問い合わせください。

北京
+86 10 6649 7500
ドバイ
+971 4 364 1000
フランクフルト
+49 69 9204 1210

香港
+852 2977 6000
ロンドン
+44 20 7330 7500
ムンバイ
+91 22 6120 3600

ニューヨーク
+1 212 318 2000
サンフランシスコ
+1 415 912 2960
サンパウロ
+55 11 2395 9000

シンガポール
+65 6212 1000
シドニー
+61 2 9777 8600
東京
+81 3 4565 8900